

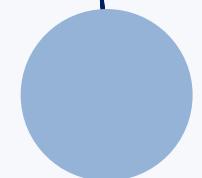


# オムロン 基本情報

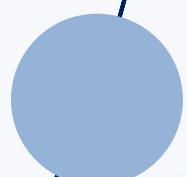
2025年12月  
オムロン株式会社 IR部



## オムロンの概要



## オムロンの事業



## ESG・還元方針

創業	1933年（昭和8年）5月10日
本社	京都府京都市下京区塩小路通堀川東入
資本金	641億円
連結売上高	8,018億円（2024年度）
連結従業員数	26,614人*（国内：11,073人 海外：15,541人）
上場市場	東証プライム（証券コード 6645）
時価総額	8,247億円（2025年11月末日）

\*2025年5月末時点

## オムロンの社員は社憲の精神を企業理念として受け継いでいる

### オムロン企業理念

#### Our Mission

(社憲)

われわれの働きで われわれの生活を向上し よりよい社会をつくりましょう

#### Our Values

私たちが大切にする価値観

##### ・ソーシャルニーズの創造

私たちは、世に先駆けて新たな価値を創造し続けます。

##### ・絶えざるチャレンジ

私たちは、失敗を恐れず情熱をもって挑戦し続けます。

##### ・人間性の尊重

私たちは、誠実であることを誇りとし、人間の可能性を信じ続けます。

### 経営のスタンス

私たちは、「企業は社会の公器である」との基本的考え方のもと、企業理念の実践を通じて、持続的な企業価値の向上を目指します。

- ・長期ビジョンを掲げ、事業を通じて社会的課題を解決します。
- ・真のグローバル企業を目指し、公正かつ透明性の高い経営を実現します。
- ・すべてのステークホルダーと責任ある対話をを行い、強固な信頼関係を構築します。

### 定款

#### 第2条

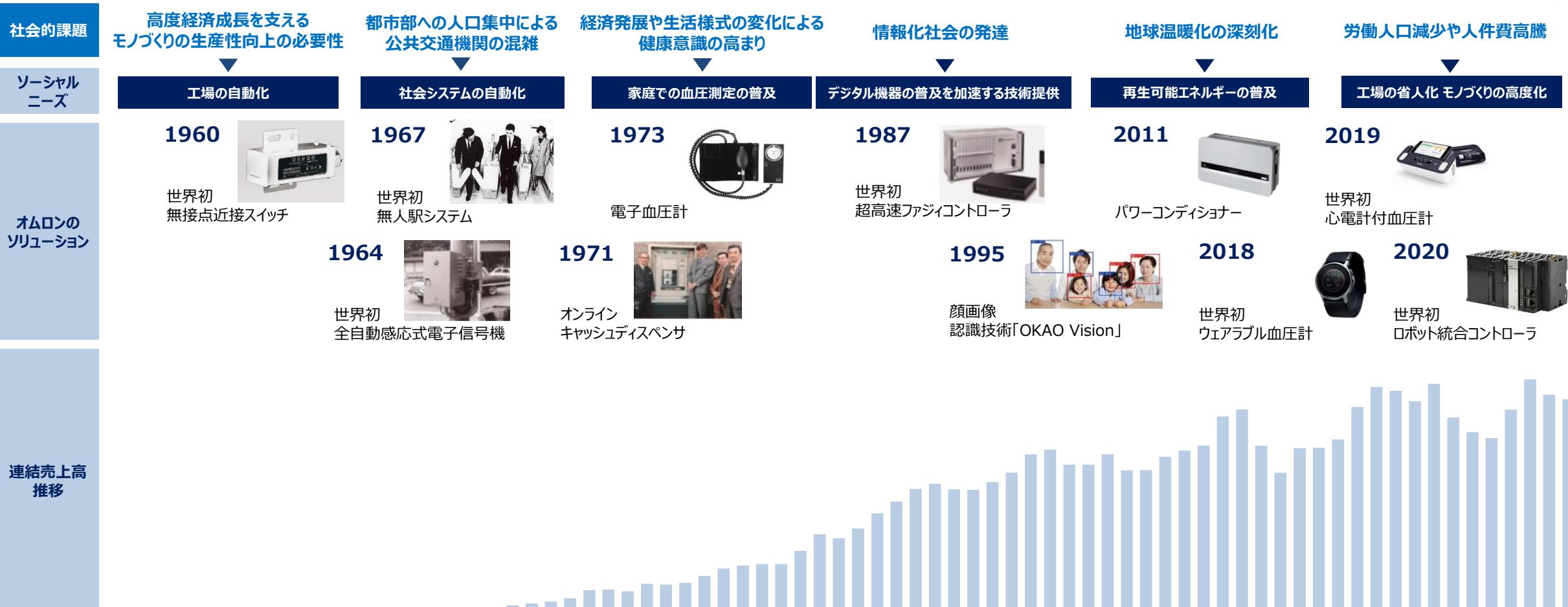
当会社は、「われわれの働きで われわれの生活を向上し よりよい社会をつくりましょう」という社憲の精神に基づき企業理念を実践し、事業を通じて社会の発展に貢献するとともに、企業価値の向上に努める。

# オムロンの歩み

5

時代の変化が生み出す社会的課題を解決する"ソーシャルニーズの創造"に挑戦し、  
世の先駆けとなる様々なイノベーションで事業を拡大

1948 1960 1970 1980 1990 2000 2010 2020



2030年に向けて、社会へのインパクトと、オムロンの強みである  
オートメーション・顧客・事業資産を活かせる観点から、捉えるべき3つの社会課題を設定

## カーボンニュートラルの実現



## デジタル化社会の実現



## 健康寿命の延伸



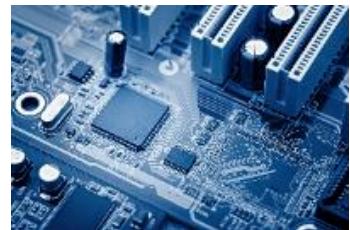
# 事業セグメントの構成と売上高比率

7



## データソリューション事業

5%



## 電子部品事業

13%



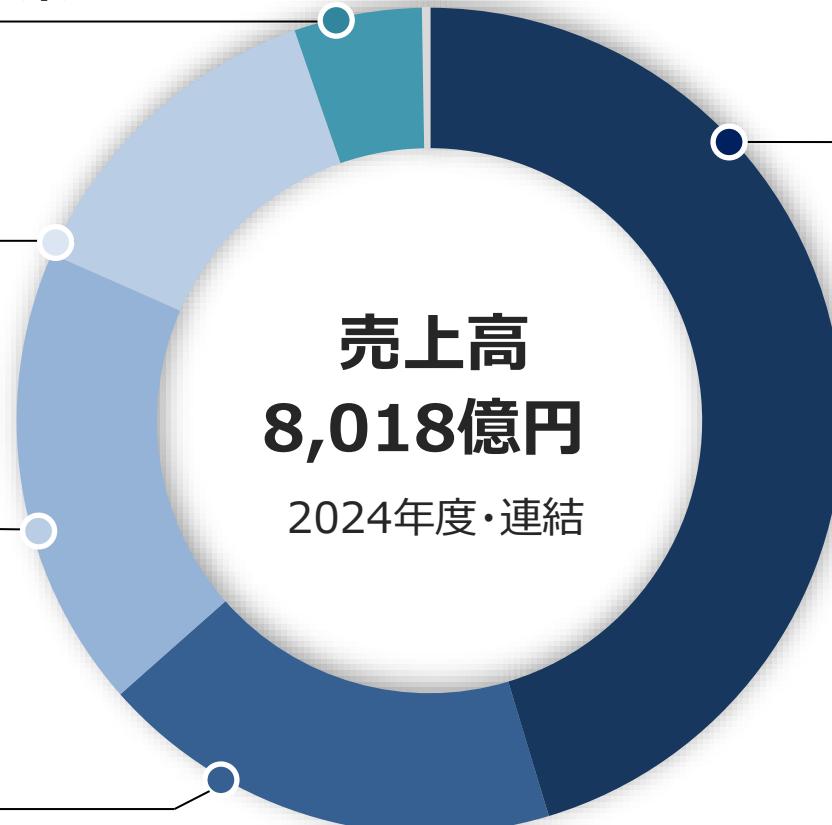
## 社会システム事業

18%



## ヘルスケア事業

18%



## 制御機器事業

45%



# オムロンの5つの事業

8

## 制御機器事業 (IAB)

工場の生産ライン自動化に向けた  
FA機器・革新的ソリューションを  
提供



## ヘルスケア事業 (HCB)

循環器・呼吸器疾患の重症化を  
予防し、ゼロイベント実現に向けた  
革新的デバイス・サービスを提供



## 社会システム事業 (SSB)

カーボンニュートラル、デジタル社会  
の実現に向け、パワコン・蓄電、  
鉄道等の社会インフラ基盤を提供



## 電子部品事業 (DMB)

新エネルギーの導入・デジタル化  
社会の実現に向け、高周波・  
省エネ等のデバイスを提供



## データソリューション 事業 (DSB)

データを活用した新規事業の  
開発・拡大と、グループにおける  
ソリューションビジネスの進化をリード



FY24 売上高

3,608億円

1,459億円

1,434億円

1,054億円

427億円

営業利益

363億円

175億円

153億円

3億円

28億円

営業利益率

10.1%

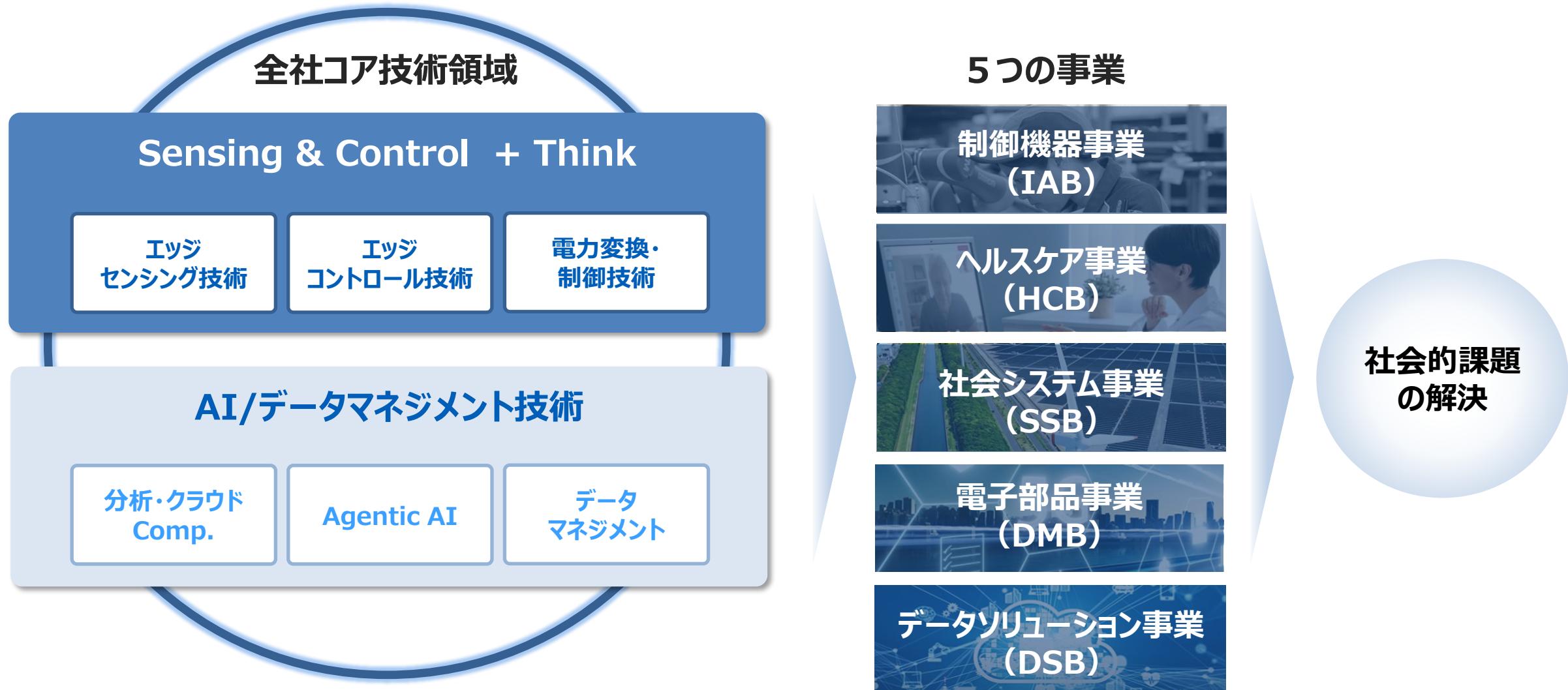
12.0%

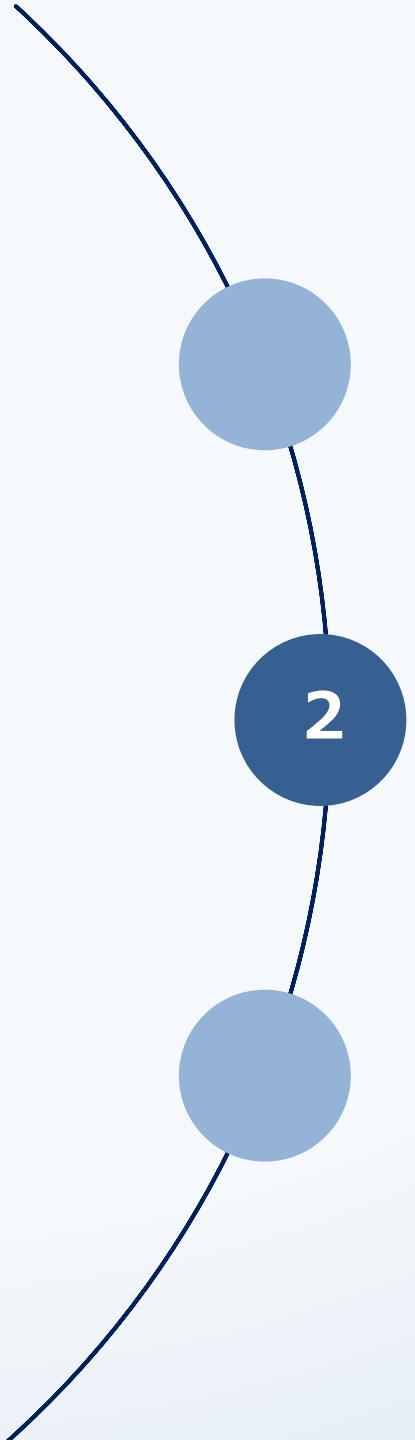
10.7%

0.3%

6.6%

ソーシャルニーズの創造の源泉となるコア技術をベースに、5つの事業を通じて社会的課題を解決する





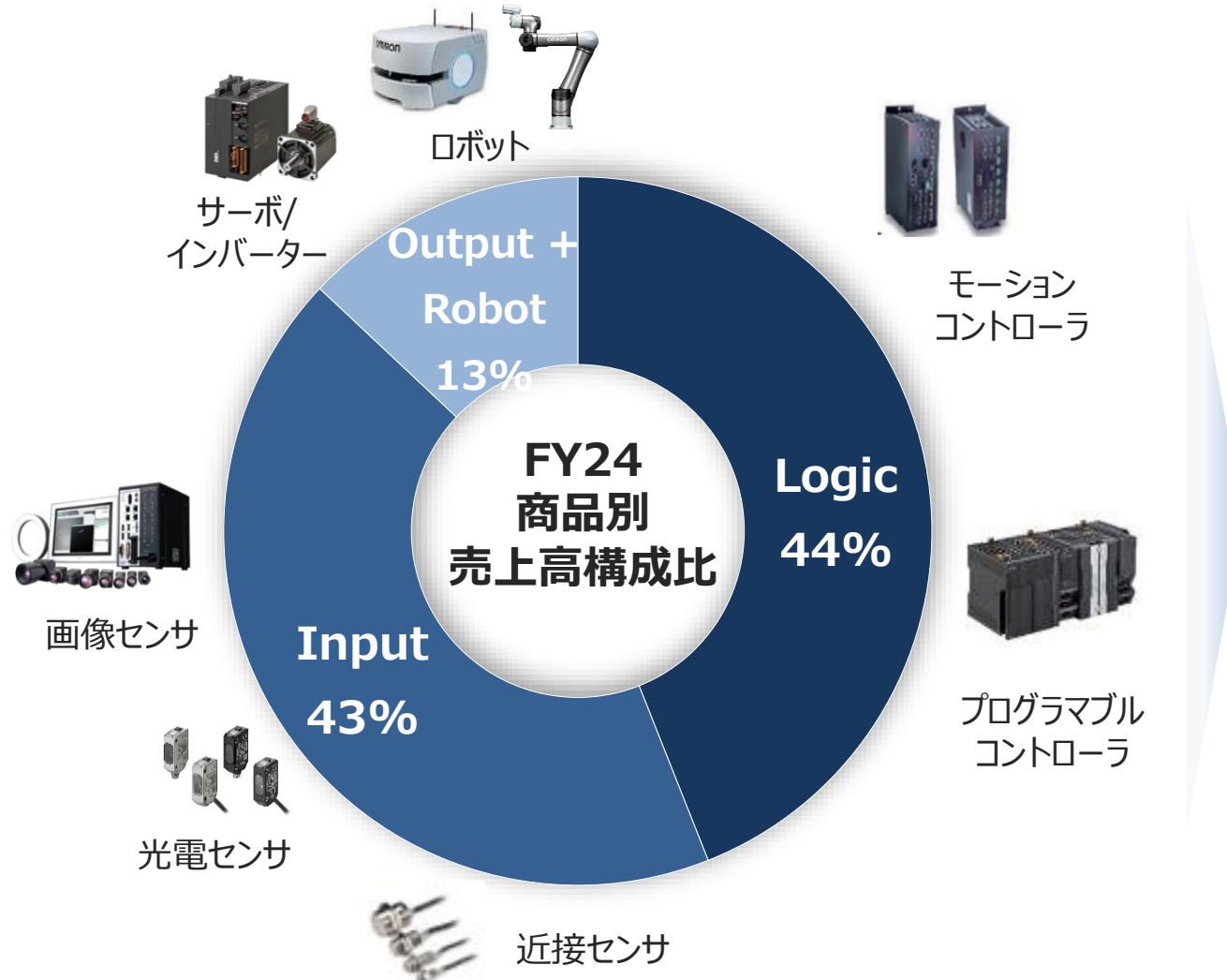
オムロンの概要

オムロンの事業

ESG・還元方針

2

工場の生産ライン自動化に向け、幅広いFA機器・革新的ソリューションを提供



エンドユーザー/マーケット



## 工場の自動化の核となるデバイス (ILOR+S) を幅広くラインナップ<sup>®</sup>

現場や設備の状態を  
検知する

**I**nput



光電センサ



近接センサ



変位センサ



画像センサ

入力情報を受け取り、  
制御・指令する

**L**ogic



プログラマブルコントローラ  
(PLC)



産業用PC



モーション  
コントローラ

制御・指令信号をもとに  
動作を行う

**O**utput



サーボモータ



インバータ



位置制御  
ユニット

組み立て、検査、搬送等  
の作業を自動化

**R**obot



モバイルロボット



産業用ロボット



協調ロボット

作業者や設備の  
安全性を確保

**S**afety



セーフティ  
ライトカーテン



セーフティ  
レーザスキャナ



セーフティ  
ドアスイッチ

デバイス・ソリューション・データサービスの3つの提供価値を通じて  
顧客の課題解決を実現する

## デバイス

生産の自動化の核となる  
高品質・高性能デバイスを  
業界随一の幅広いラインナップで提供

グローバル顧客基盤

約11万社

営業拠点数

177 拠点

グローバル代理店  
社数

約2,500社

## ソリューション

幅広いデバイスとソフトウェアの  
組み合わせで、  
高度な製造課題を解決

先端技術向け  
革新アプリ

140個

顧客共創拠点  
(ATC)

44 拠点

業界エンジニア

約1,540人

## データサービス

多様な現場データの活用による  
次世代のスマートファクトリーの実現

グローバル  
パートナー

製品エンジニアリングパートナー  
**Cognizant社**

データノウハウ・  
技術

当社連結子会社  
**JMDC**

現場データ  
活用サービス

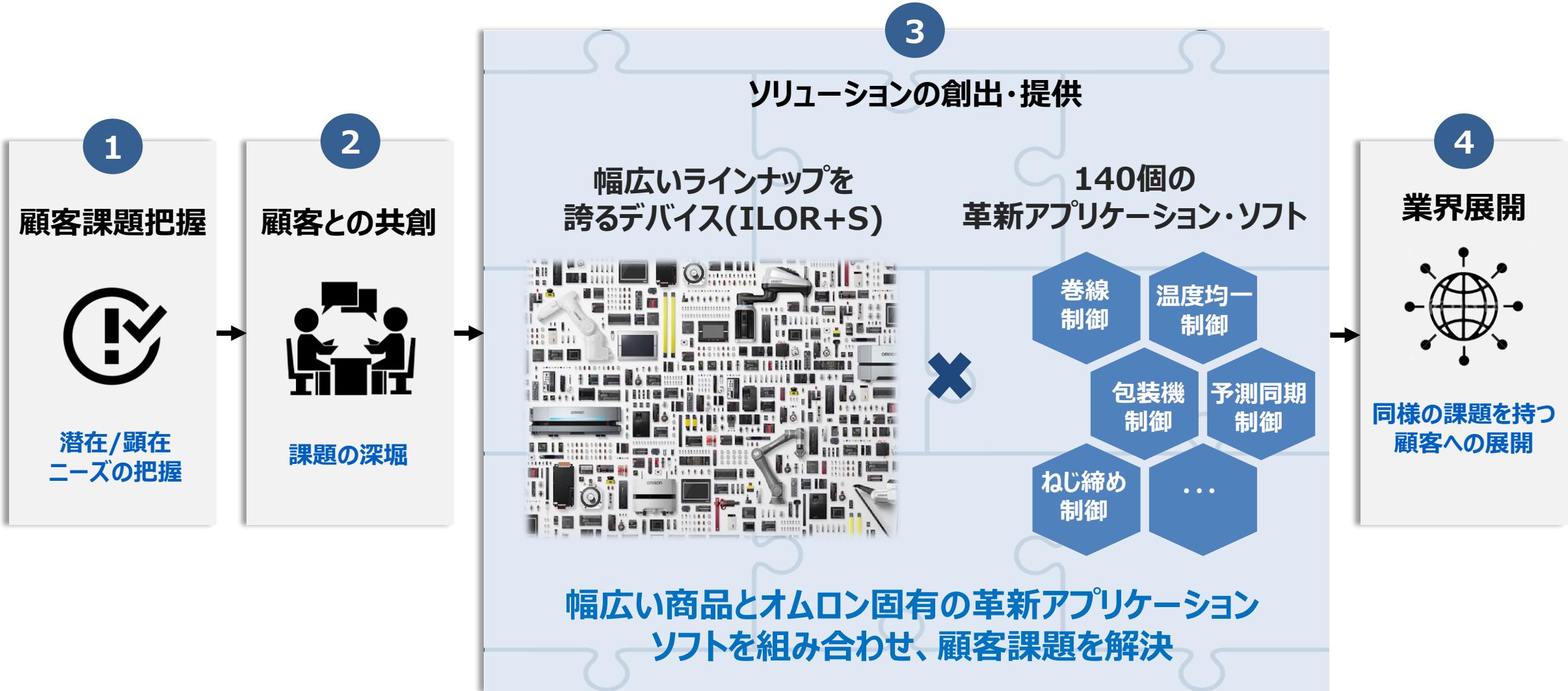
**i-BELT**

幅広いラインナップを誇る商品群 (ILOR+S) と革新アプリケーション・ソフトを組み合わせ、  
製造現場の課題解決につながるソリューションを提供

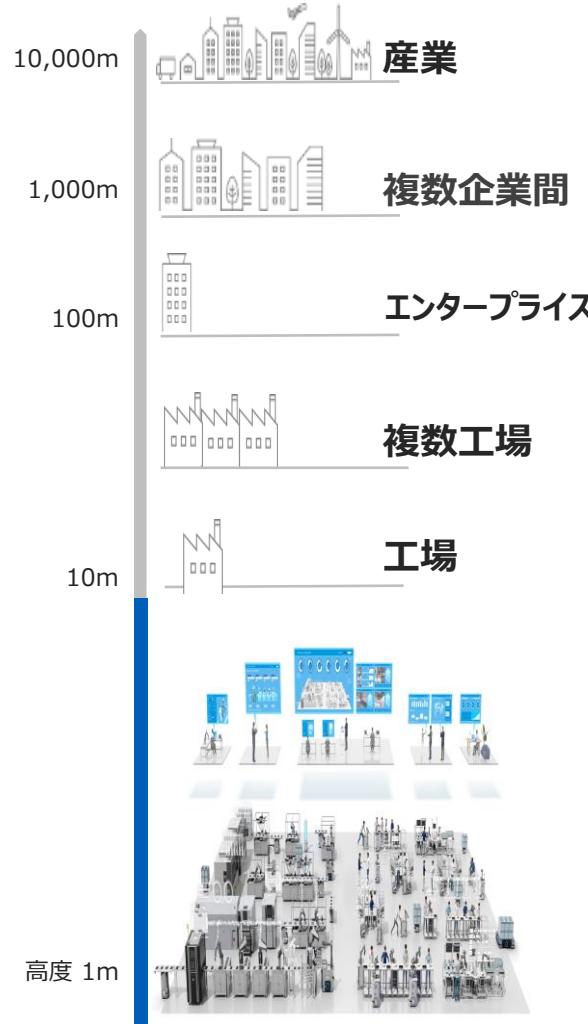


\*オムロンが自社で開発・提供している高度な制御アプリケーション・ソフトウェア

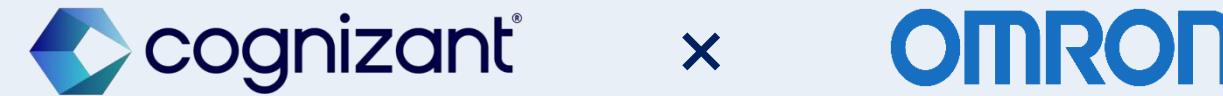
顧客との共創によりオムロン固有のソリューションを生み出し、同様の課題を持つ顧客に展開



デバイスから得られる高品質のデータを融合・活用し、顧客の本質的課題を解決するデータサービスを創出



## IT×OT



現場で得られる膨大なデータをITで高度活用。  
リアルタイムで最適な製造オペレーションや経営判断を実現

## OT

デバイスとソリューションを通じて  
“製造現場”的課題を解決

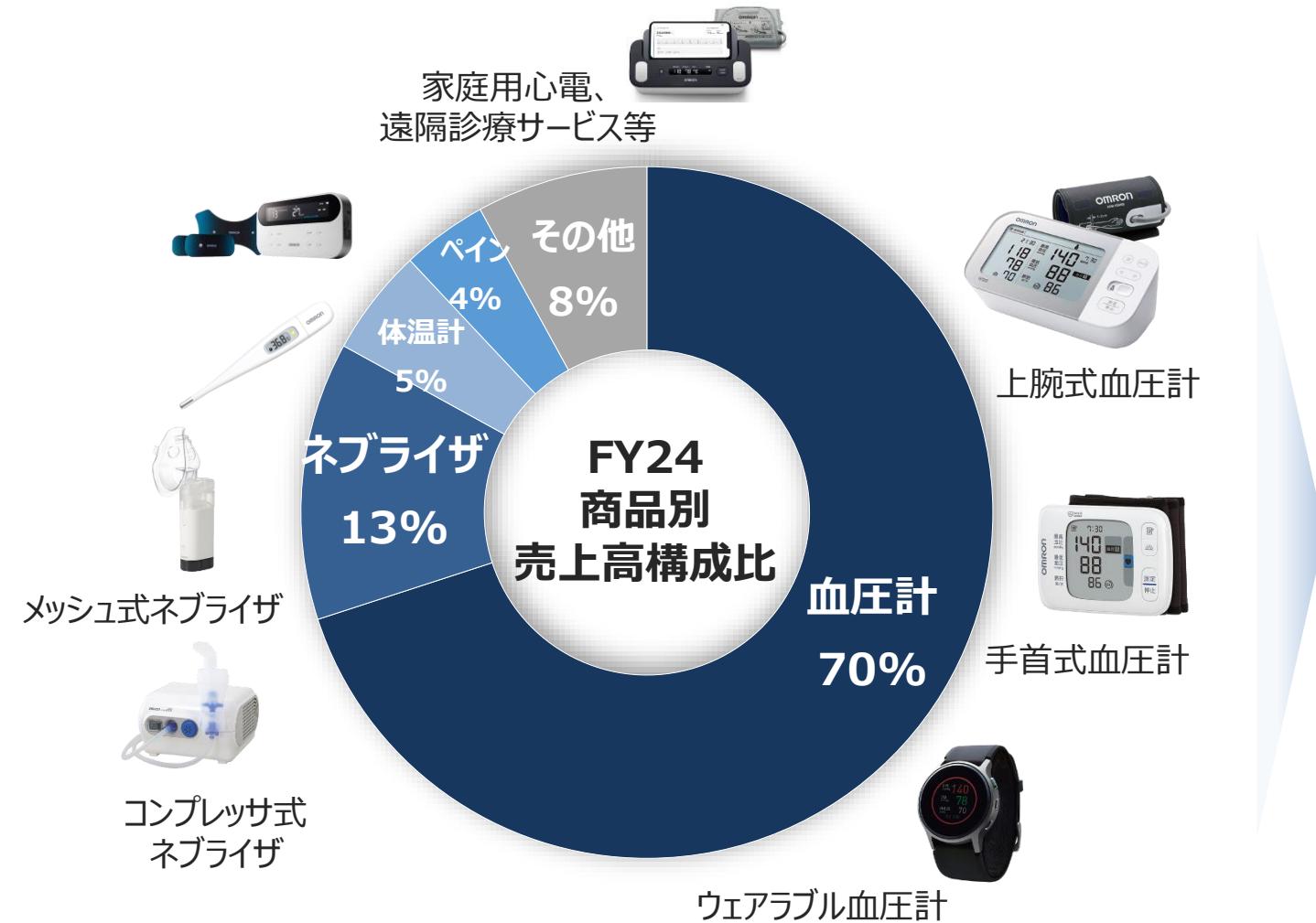
OMRON

例： 予兆保全

エネルギー生産性向上

歩留まり改善

循環器・呼吸器疾患の重症化を予防し、ゼロイベント実現に向けた革新的デバイス・サービスを提供



エンドユーザー/マーケット



3つの商品領域において、グローバルでNo.1のシェアを持つ

## 家庭用血圧計

グローバルシェア  
**No.1**  
**(約45%)**



累計販売台数

**4億台超**

## その他商品



ネブライザ

グローバルシェア  
**No.1**  
**(約25%)**



低周波治療器  
(ペイン)

グローバルシェア  
**No.1**  
**(約25%)**

## 医療機器としてのグローバルでの高い信頼を強みに、世界中の人々の「健康寿命」の延伸に貢献



医療機関から  
推奨される高い  
品質と技術



97か国での  
医療機器認証



グローバルでの  
ブランド力

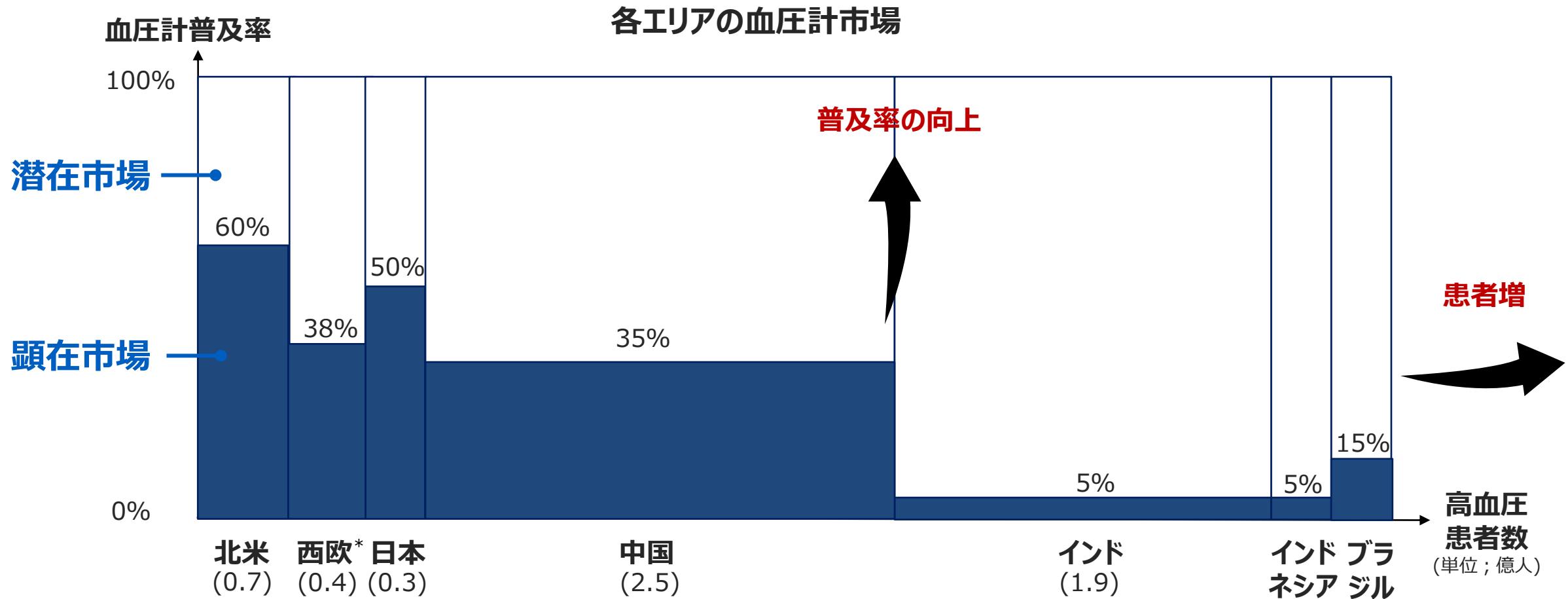
医療現場でも信頼されている  
オムロンの血圧計は、世界中で  
235件以上の臨床研究に採用\*

厚生労働省（日本）、NMPA  
(中国)、FDA（アメリカ）など、  
医療機器としての許認可を  
世界97か国で取得

50年以上にわたるグローバルでの  
普及実績や約130の国・地域での  
展開により、世界で信頼される  
ブランドを確立

\* 2000年～2023年1月、オムロン ヘルスケア調べ

新興国の潜在市場は大きい。先進国も高齢化に伴う高血圧患者数増により拡大



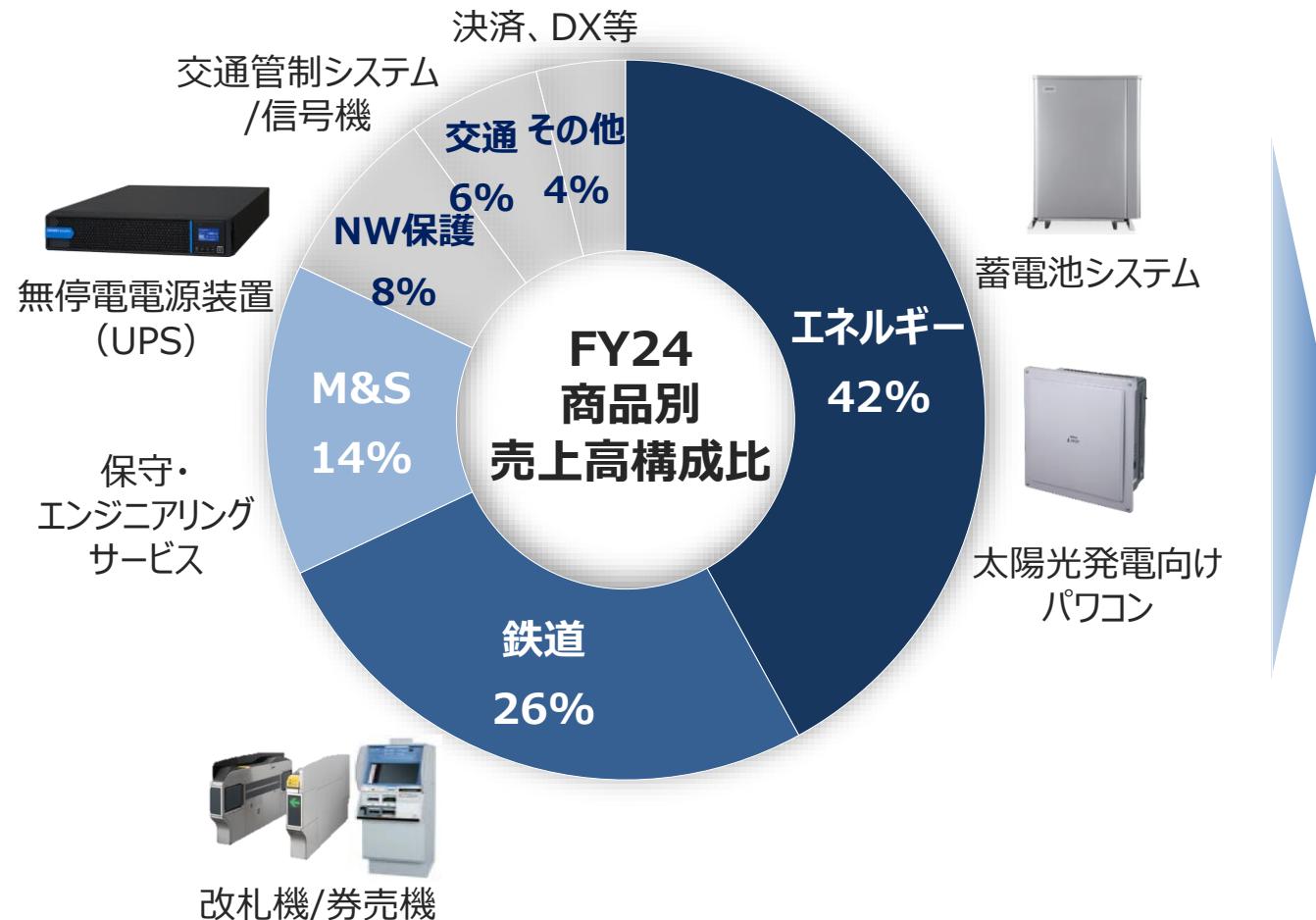
\* 西欧はドイツ・フランス・イギリス・イタリアのみ

出典: 高血圧患者数…WHO発表の高血圧人口に人口動態 (30歳~79歳) を掛け合わせ算出。

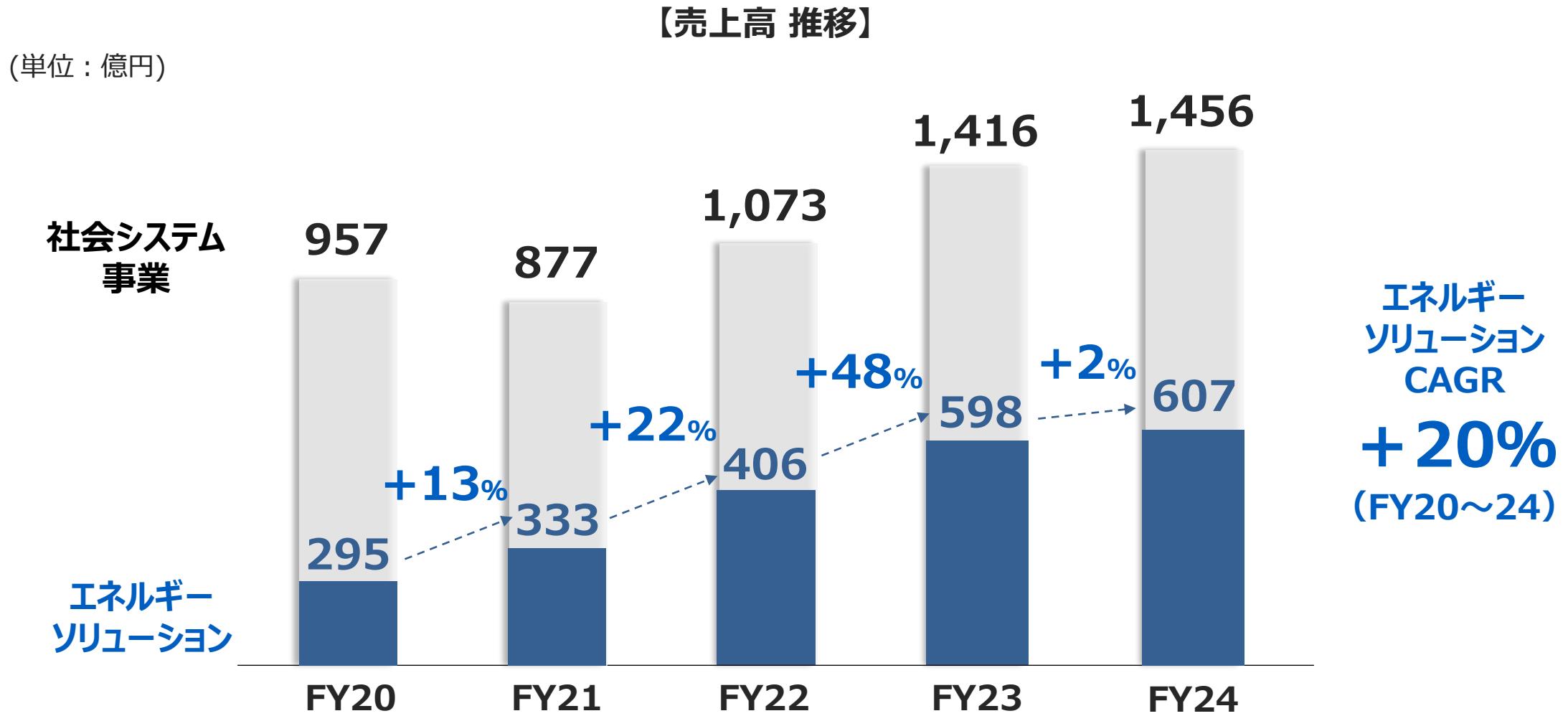
普及率…推定高血圧患者数と買い替えサイクルを5年としたときの他社を含む血圧計の総販売台数の推定値から算出

カーボンニュートラル、デジタル社会の実現に向け、パワコン・蓄電、鉄道等の社会インフラ基盤を提供

## 主なエンドユーザー/マーケット



## エネルギーソリューションが社会システム事業全体の成長をけん引



## PVパワコン、蓄電システムとともに市場普及率は依然低く、ホワイトスペースは大きい

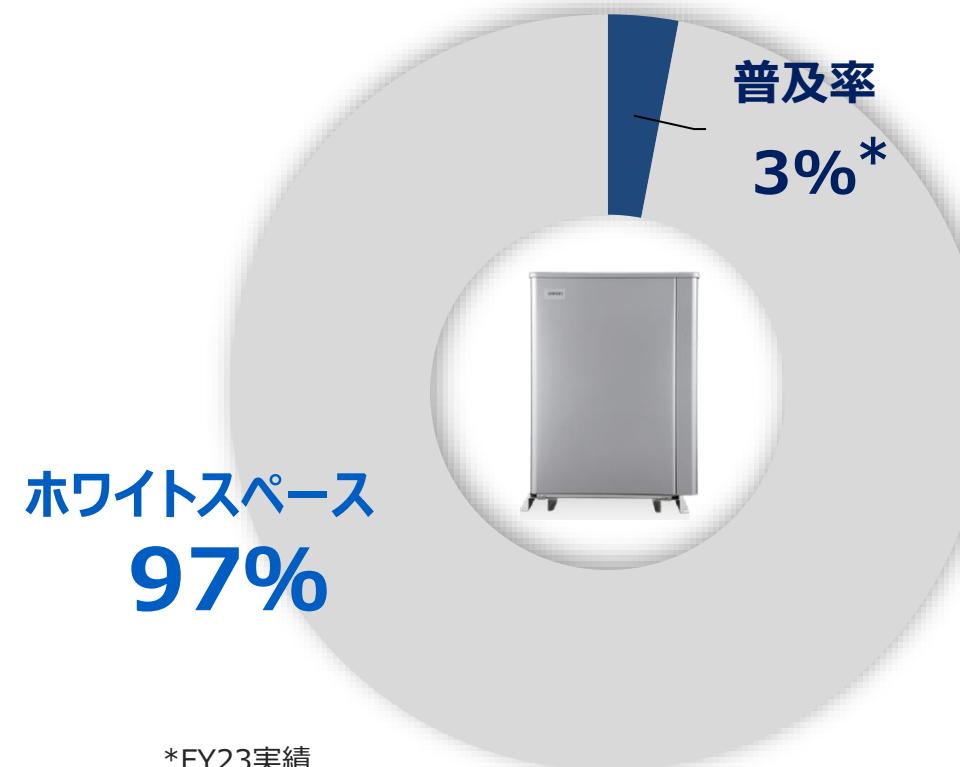
### 住宅向け太陽光発電(PVパワコン)普及率



\*FY22実績

\*PV導入件数 / 戸建住宅総数 2,870万戸

### 蓄電システム普及率



\*FY23実績

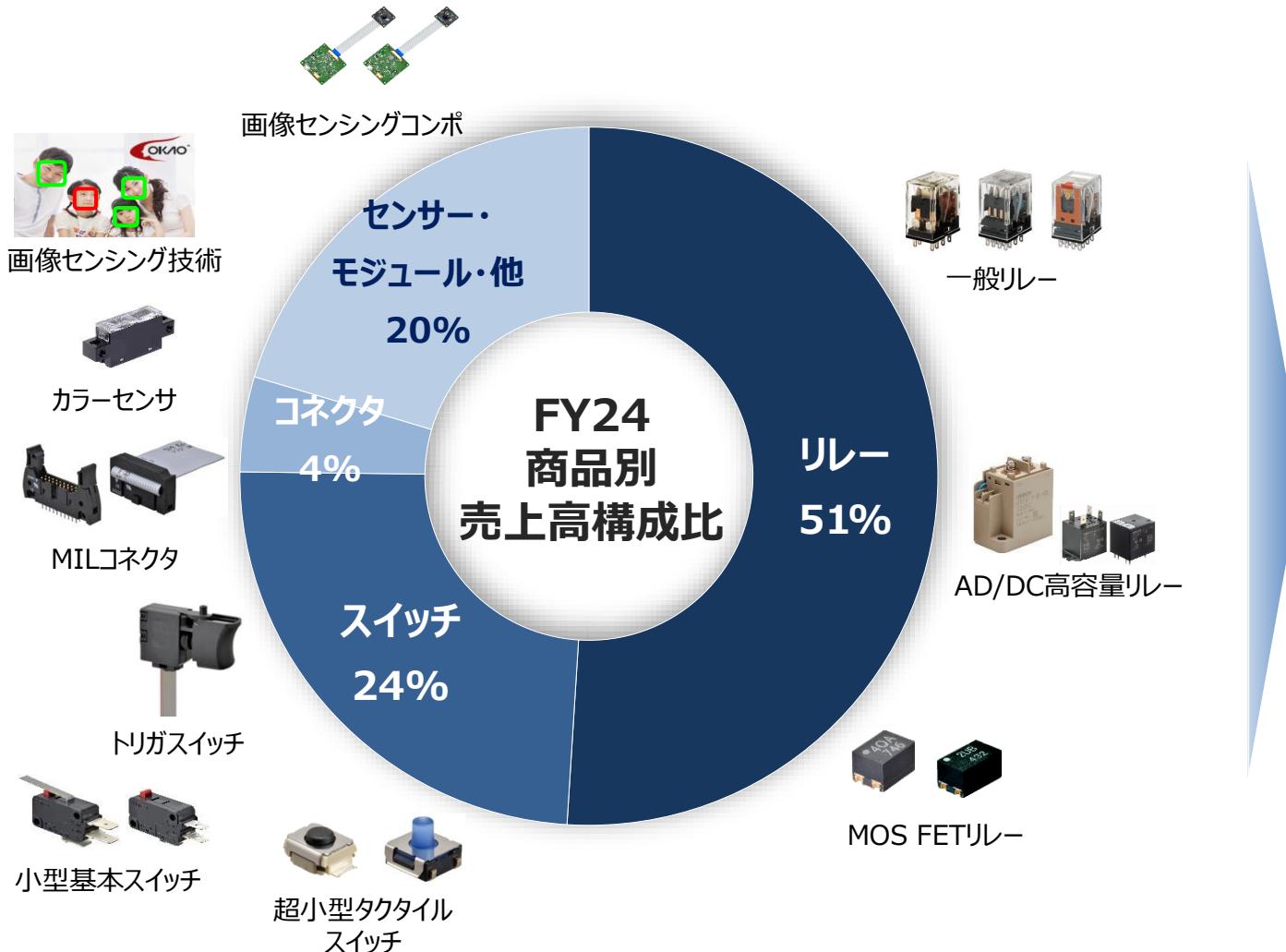
蓄電システム導入件数/戸建住宅総数

戸建住宅総数：総務省 統計局「平成30年 住宅・土地統計調査」より

一般社団法人 太陽光発電協会「JPEAによる2035年の太陽光発電 導入見通しと課題・チャレンジ」P14より ([https://www.renewable-ei.org/pdfdownload/activities/S1-JPEA\\_TMasukawa\\_20240314.pdf](https://www.renewable-ei.org/pdfdownload/activities/S1-JPEA_TMasukawa_20240314.pdf))

一般社団法人日本電機工業会「JEMA 蓄電システムビジョン(Ver.7)」より ([https://www.jema-net.or.jp/jema/data/S7216\(20220427\).pdf](https://www.jema-net.or.jp/jema/data/S7216(20220427).pdf))

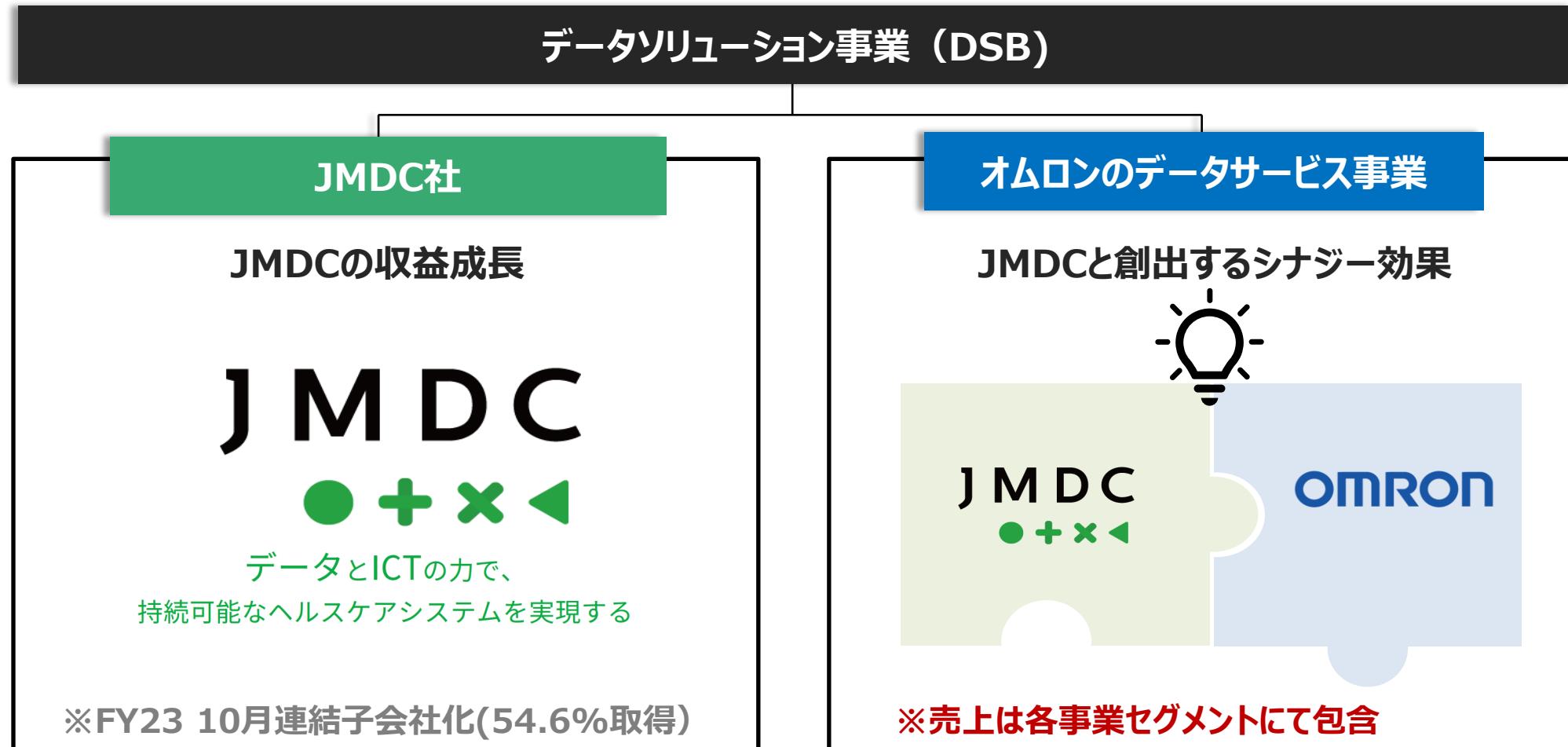
新エネルギーの導入・デジタル化社会の実現に向け、高周波・省エネ等のデバイスを提供



主なエンドユーザー/マーケット

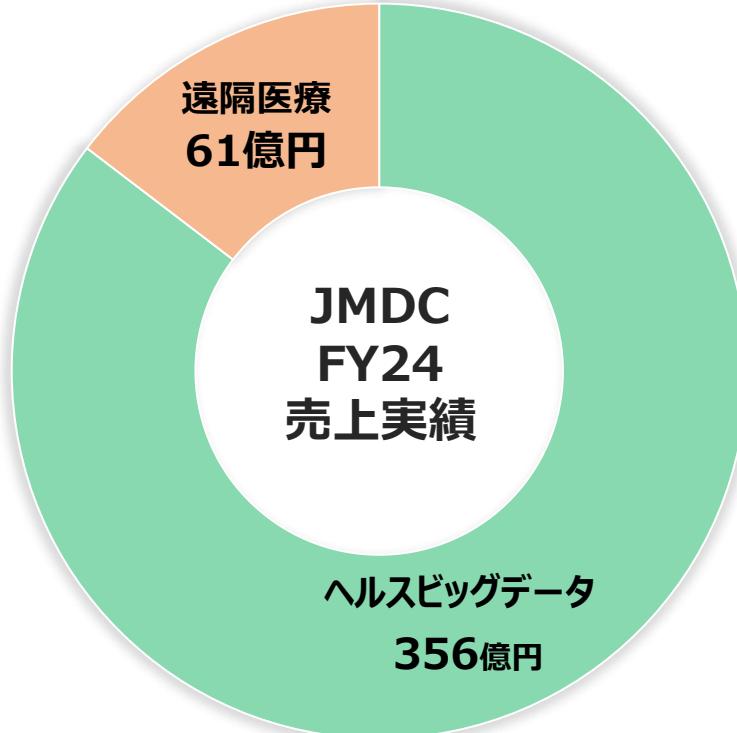


データを活用した新規事業の開発・拡大と、グループにおけるソリューションビジネスの進化をリード

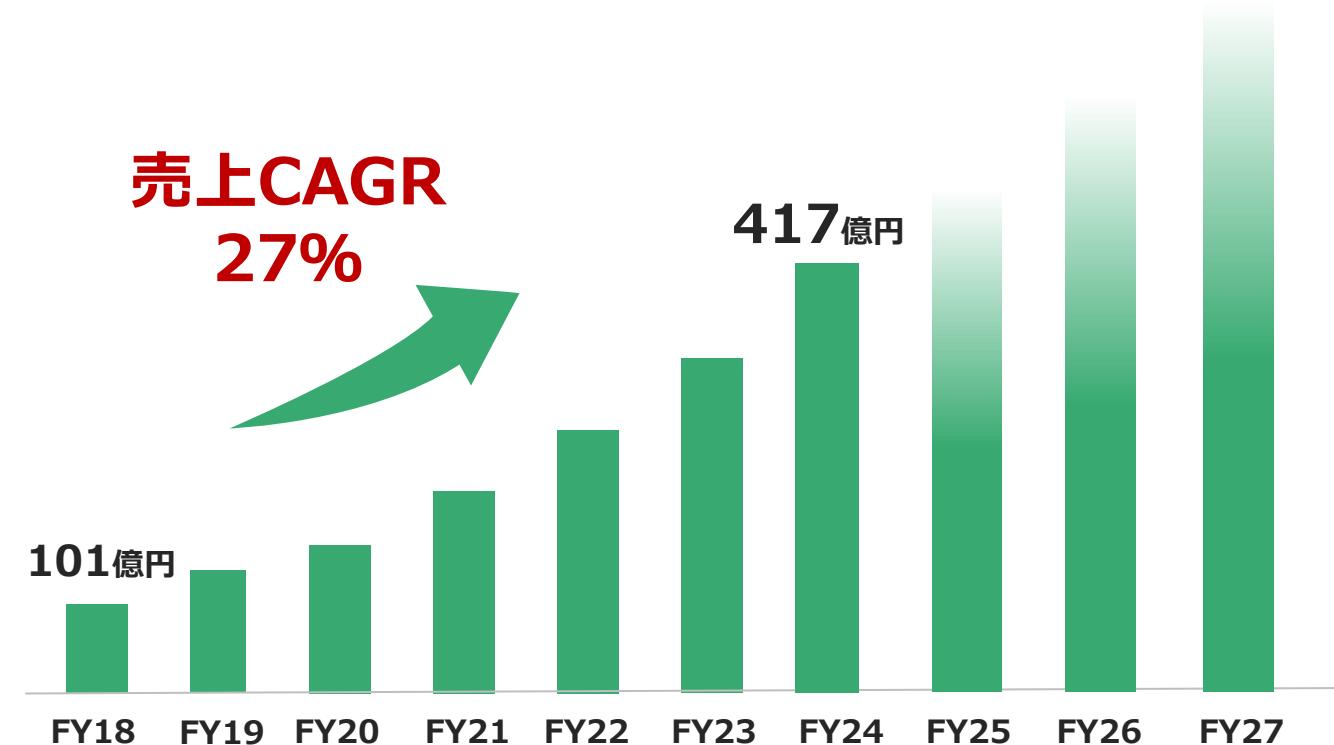


JMDCは圧倒的なヘルスビッグデータと分析力を武器にデータヘルスケア市場をリードし、高い成長率を誇る

売上構成比

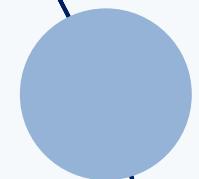


JMDC売上推移

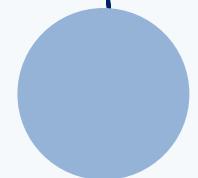


JMDCのグループ参入により3事業のDXを加速。データソリューションビジネスの拡大を図る





オムロンの概要



オムロンの事業



**ESG・還元方針**

## マテリアリティ

成長マテリアリティ

事業を通じた社会的課題の解決

ソーシャルニーズ創造力の最大化

成長 & 基盤

人財の可能性を引き出し成長を加速

レジリエントなサプライチェーン構築

基盤マテリアリティ

脱炭素・循環経済の実現による環境負荷の低減

バリューチェーンにおける人権の尊重

## 非財務目標（経済価値創出のKPI）

- IAB Customer Base Map 占有数拡大率
- HCB 血圧計販売台数、OMRON connect + Pep-UpのAU<sup>\*1</sup>数
- SSB 蓄電システム出荷台数
- DMB DC機器向け製品・高周波機器向け製品の販売台数

インキュベーションフェーズの4事業のマネタイズモデル確立

社員エンゲージメント（VOICEエンゲージメント指標）

主要製品の調達・生産の複線化推進<sup>\*2</sup>

脱炭素

循環経済

Scope1&2削減量(1.5°C水準) /  
Scope3(カテゴリ1・11)削減量(ウェルビロウ 2°C水準)  
資源循環モデルの拡大・拡充

- ・オムロンにおける顕著な人権課題ごとに、UNGPsに沿った人権デューデリジェンスを実施
- ・救済メカニズムの整備<sup>\*2</sup>

\*1 : AU = Active User (アクティブユーザー)

\*2 : 定量目標は設定しない。取り組むこと自体を目標とする



CDP「気候変動」で「A-」、「水セキュリティ」で「B」評価に選定



EcoVadis「Gold (上位5%)」に格付け



「S&Pグローバル・サステナビリティ・イヤーブック」メンバー  
5年連続選定



「DJSI World (現Dow Jones Best-in-Class World Index)」  
8年連続選定



「MSCI Selection Indexes\*」11年連続選定

\*2025年2月に「MSCI ESG Leaders Indexes」から名称変更



「FTSE4Good Index Series」10年連続選定



「ISS ESGコーポレート・レーティング」「プライム」初獲得

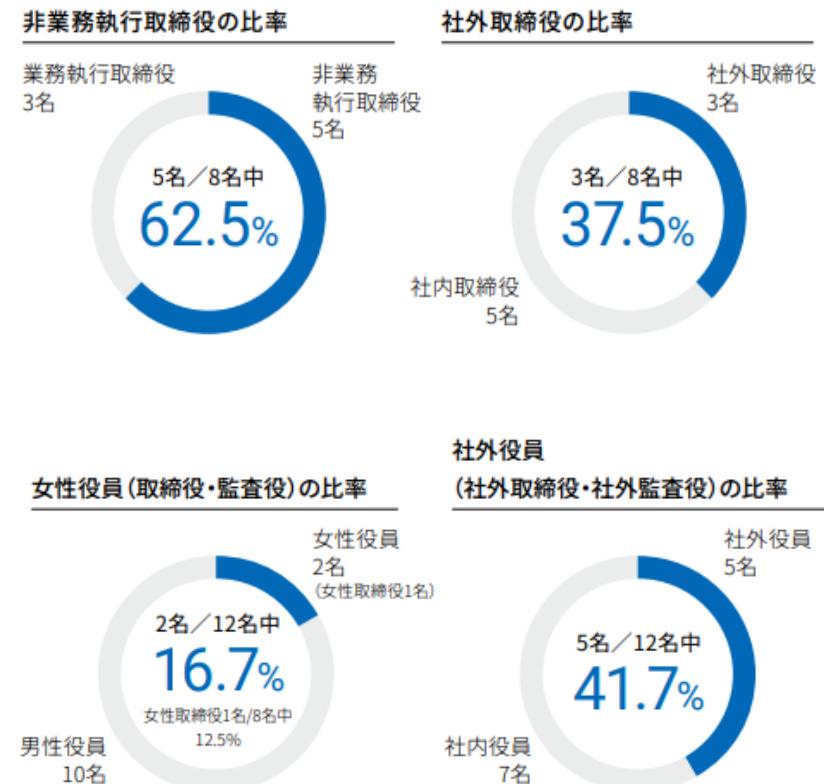
## 持続的な価値向上を担保するため、透明性・実効性の高い機関設計

### コーポレート・ガバナンス体制



\*サステナビリティ推進委員会は、注力ドメインおよび本社機能部門、各種委員会（企業倫理リスクマネジメント委員会、情報開示実行委員会、グループ環境委員会など）におけるサステナビリティに関わる重要課題を特定し、全社的に統括しています。

### 取締役会の構成（2025年6月24日時点）



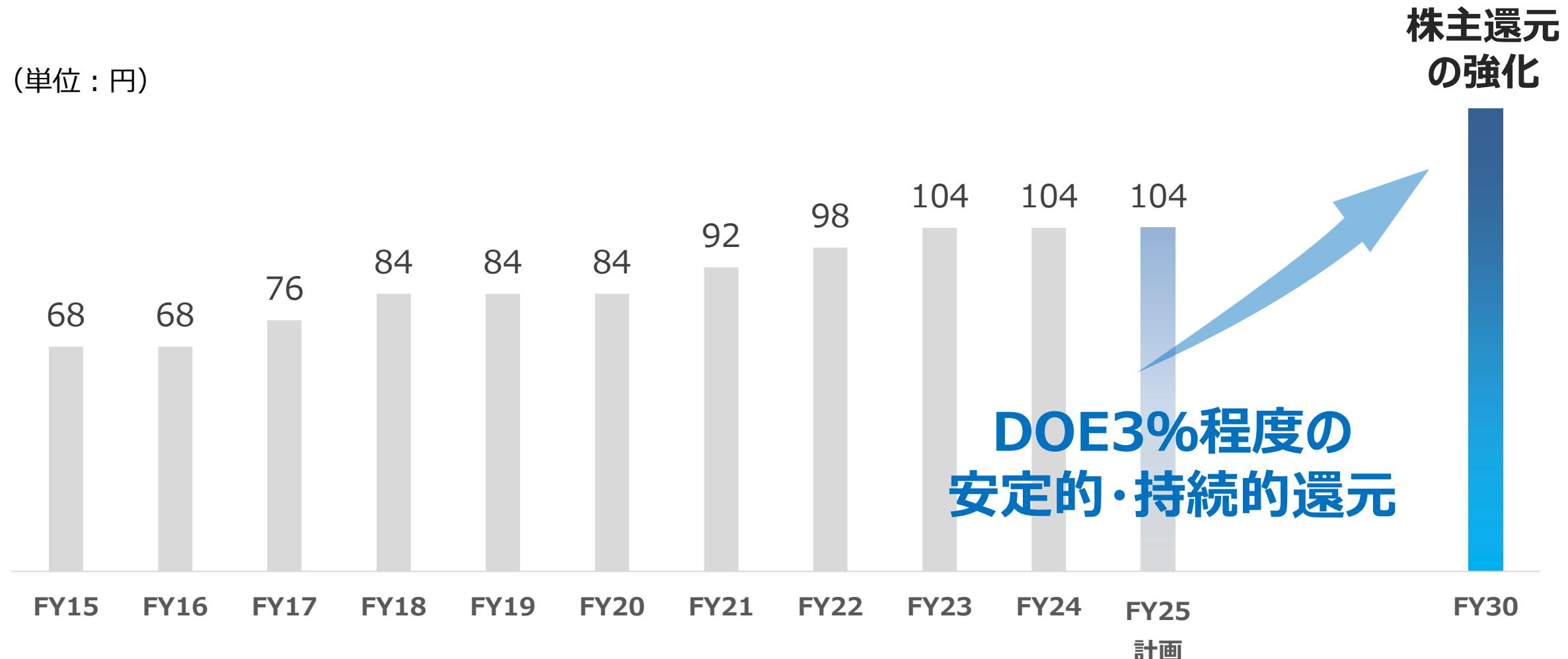
## キャッシュアロケーション・ポリシー

- 中長期視点で新たな価値を創造するため、事業投資に軸足を置いた資源配分を実行します。  
**持続的な成長を支える注力事業への投資を最優先し、特に最注力ドメインである制御機器事業領域への投資を強化します。**
- そのうえで、安定的・継続的な配当に加え、当社グループの将来の資金需要、業績水準、株価水準、財務状況などを総合的に勘案し、**自己株式の取得を機動的に実施**します。
- 投資や株主還元の原資は、内部留保や持続的に創出する営業キャッシュフローを基本としつつ、**M&Aの実行においては外部資金調達も積極的に活用**します。なお、金融情勢によらず資金調達を可能とするため、**引き続き財務健全性の確保**に努めます。

## 株主還元方針

- 中長期視点での価値創造に必要な投資を優先した上で、毎年の配当金については、「**株主資本配当率（DOE）3%程度**」を基準とします。そのうえで、**過去の配当実績も勘案して、安定的、継続的な株主還元**に努めます。
- 上記の投資と利益配分を実施したうえで、さらに**長期にわたり留保された余剰資金**については、機動的に**自己株式の買入れ**などを行い、株主の皆さんに還元していきます。

安定的・持続的な配当を継続する。利益拡大に応じて株主還元を強化



omron